

ハクチョウの交尾について

海老原 昭

本年3月21日午前10時ごろ、福島県猪苗代湖の崎川浜（さっかはま）で白鳥の写真を撮影していた折に、コハクチョウと思われる白鳥の交尾ではないかと思われる写真を撮りました。日本国内では白鳥の交尾は大変まれであると聞いております。

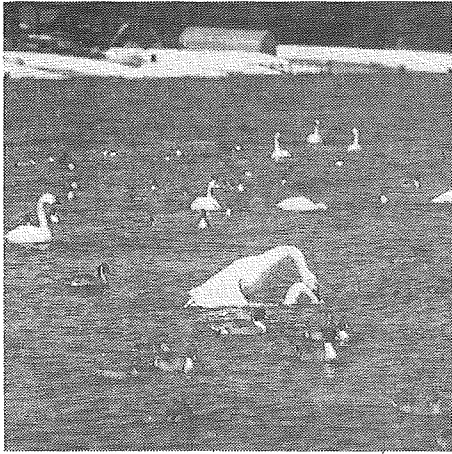
当日は朝から天気が良く、気温も上がり、気持の良いポカポカ陽気でした。白鳥の群れにもあまり動きがなく、手もちぶさたで何となく白鳥たちを眺めていたところ、20〜30メートル先の一羽の白鳥が突然、隣りの白鳥の背に後から乗りかかりました。もしかしたら話に聞く白鳥の交尾ではと思い、急いでファインダーを覗き撮影したのがこの写真です。

交尾を終わって、二羽が互いにすり寄って行く様は気のせいかな何とも愛らしく、色っぽい感じでした。

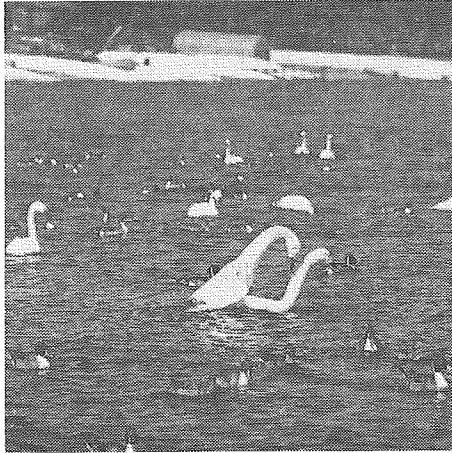
「コハクチョウはシベリアに於いては、雪のあるうちに営巣するので本当の交尾とも考えられますが、あるいは、偽交尾とも思われ、真偽のほどは分かりません。」

談（藤巻 裕蔵、帯広畜産大学助教授）

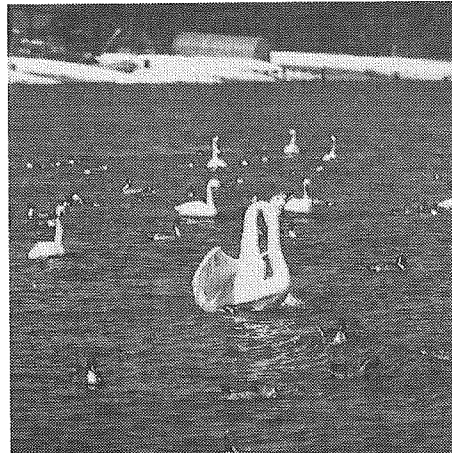
①



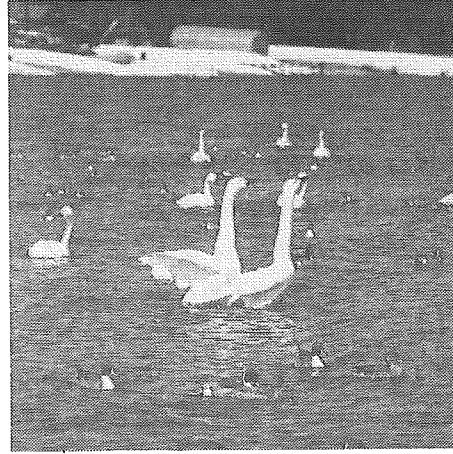
②



③



④



⑤

